

varieKEY NS

操作マニュアル

Ver 1.0.0



作成日 2015/12

目次

1. はじめに	3
1.1 varieKEY NS でできること	3
1.2 対象製品	3
1.3 利用について	3
2. 運用開始までの手順	5
2.1 SmartNS で事前準備	5
2.2 varieKEY NS の手順	5
3. 機能説明	7
3.1 Wi-Fi 設定機能	7
3.2 ユーザ ID 設定機能	10
3.3 開錠対象選択機能	12
3.4 パスコード解除機能	14
3.5 再実行機能	16
3.6 共通動作機能	18
3.7 その他機能	21
4. メッセージ一覧	22

1. はじめに

本システムは SmartNS のオプション製品です。

※SmartNS 製品との連携が必要となります。

1.1 varieKEY NS でできること

本システム「varieKEY NS」は専用電子錠を開錠します。

1.2 対象製品

本システム利用の対象製品を以下へ提示します。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ① 適用機器 | : スマートフォン |
| ② 適用 Android バージョン | : Android4.1 以上 |
| ③ その他 | : Wi-Fi 対応および Bluetooth 対応 |

1.3 利用についてのお願い

本システムでは専用電子錠の開錠機としてスマートフォンを利用しますが

本システムでは常に動作をさせ続けて利用する事を前提にしている

アプリケーションではない為、長時間動作させ続けると、システムが不安定になる場合が

あります。この為、本システムで 10 分以上放置した場合は、アプリケーションの再起動を

推奨しています。

もしシステムが不安定になった場合でもアプリケーションを再起動する事で本来の状態に

復帰するケースもあります。



2. 運用開始までの手順

varieKEY NS の運用開始までの基本的な手順をご説明します。

2.1 SmartNS で事前準備

SmartNS で事前に以下の機能を実行して準備する必要があります。

- ① 利用者登録
- ② 開錠対象登録
- ③ 利用者アップロード
- ④ 開錠対象アップロード

※各機能の詳細は SmartNS のヘルプを参照してください。

2.2 varieKEY NS の手順

- ① Bluetooth ペアリング設定

スマートフォンの[設定- Bluetooth]から電子錠の Bluetooth ペアリングを事前に設定して下さい。

- ② varieKEY NS の起動

スマートフォンにインストールされている varieKEY NS を起動し初期設定を行います。

③ 初期設定

Wi-Fi 接続情報を設定します。(※ 1)

ユーザ ID を設定します。(※ 2)

※ 1 【3.1 Wi-Fi 設定機能】を参考に行ってください。

※ 2 【3.2 ユーザ ID 設定機能】を参考に行ってください。

④ 開錠対象の選択

開錠対象の名称をタップします。(※ 3)

※ 3 【3.3 開錠対象選択機能】を参考に行ってください。

⑤ パスコードの入力

パスコードの入力を行います。(※ 4)

※ 4 【3.4 パスコード解除機能】を参考に行ってください。


⑥ 再実行

設定した情報に間違いがあった場合など再実行(※5)の画面が表示されます。設

定情報を変更した後、再実行ボタンを押下して下さい。

※5 【3.5 再実行機能】を参考に行ってください。

3. 機能説明

varieKEY NS アイコン  をタップすると varieKEY NS が起動し、しばらくすると Wi-Fi 設定画面（設定情報が無い場合※）に自動的に切り替わります。

※Wi-Fi 設定情報がある場合は、ユーザ ID 設定画面へ切り替わります。さらにユーザ ID 設定情報がある場合は、開錠対象選択画面へ切り替わります。

3.1 Wi-Fi 設定機能



Wi-Fi 設定画面【図 3.1-1】

●機能概要

連携する Wi-Fi ストレージの接続情報を設定する画面です。

一度設定すると内部で保存します。次回のアプリ起動からは保存した情報を利用するため

本画面は表示されません。設定を変更するには再実行画面から変更可能です。

●機能詳細

① IP アドレス

IP アドレスを入力します。

② 保存先フォルダ名

保存先フォルダ名を入力します。フォルダとフォルダの間には「/」バックスラッシュを入力します。

③ SSID

SSID を入力します。

④ SSID パスワード

SSID のパスワードを入力します。

⑤ ボタン

【アプリ起動から表示された時】

- ・ OK ボタンをタップする事で設定を決定し次の画面へ切り替わります。

- ・ Cansel ボタンをタップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。

【再実行画面から表示された時】

- ・ OK ボタンをタップする事で設定を決定し再実行画面へ戻ります。
- ・ Cansel ボタンをタップする事で設定を取りやめて再実行画面へ戻ります。



3.2 ユーザ ID 設定機能



ユーザ ID 設定画面【図 3.2-1】

●機能概要

SmartNS で設定した利用者の ID を設定する画面です。

一度設定すると内部で保存します。次回のアプリ起動からは保存した情報を利用するため

本画面は表示されません。設定を変更するには再実行画面から変更可能です。

●機能詳細

① ユーザ ID

ID を入力します。

② ボタン

【アプリ起動から表示された時】

- ・ OK ボタンをタップする事で設定を決定し次の画面を表示します。
- ・ Cansel ボタンをタップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。

【再実行画面から表示された時】

- ・ OK ボタンをタップする事で設定を決定し再実行画面へ戻ります。
- ・ Cansel ボタンをタップする事で設定を取りやめて再実行画面へ戻ります。



3.3 開錠対象選択機能



開錠対象選択画面【図 3.3-1】

●機能概要

SmartNS の開錠対象管理機能で設定した開錠対象ユニット名が表示されます。

本画面で表示される一覧は、SmartNS の開錠対象アップロード機能で Wi-Fi ストレージへ送信した情報となります。

●機能詳細

① 開錠対象

開錠したいユニット名をタップすると次の画面を表示します。

② メッセージ

メッセージを表示します。



3.4 パスコード解除機能



パスコード解除画面【図 3.4-1】

●機能概要

SmartNS で設定した利用者のパスコードを 4 文字で入力します。

●機能詳細

① 入力状況表示

現在のパスコード入力状況を表示します。未入力の場合は白、入力する毎に黒くなります。入力した数字は表示されません。

② ボタン

各数字のボタンをタップしパスコードを入力します。4つ目を入力した時点でパスコードを決定し開錠を実行します。

開錠した場合は「開錠画面【図 3.4-2】」が表示され自動的にアプリを終了します。

開錠失敗した場合は「再実行画面【図 3.5-1】」が表示されます。



開錠画面【図 3.4-2】

③ 削除ボタン

タップすると入力中のパスコードを 1 文字ずつ削除します。

④ キャンセルボタン

タップするとパスコード入力を取りやめてアプリを終了します。

3.5 再実行機能



●機能概要

開錠ができなかった場合に表示されます。

●機能詳細

① メッセージ(エラーコード)

開錠できなかった理由とメッセージのエラーコードを表示します。

② 再実行ボタン

開錠を再実行します。タップすると開錠対象選択画面を表示します。

③ キャンセルボタン

タップすると再実行を取りやめてアプリを終了します。

④ Wi-Fi 設定ボタン

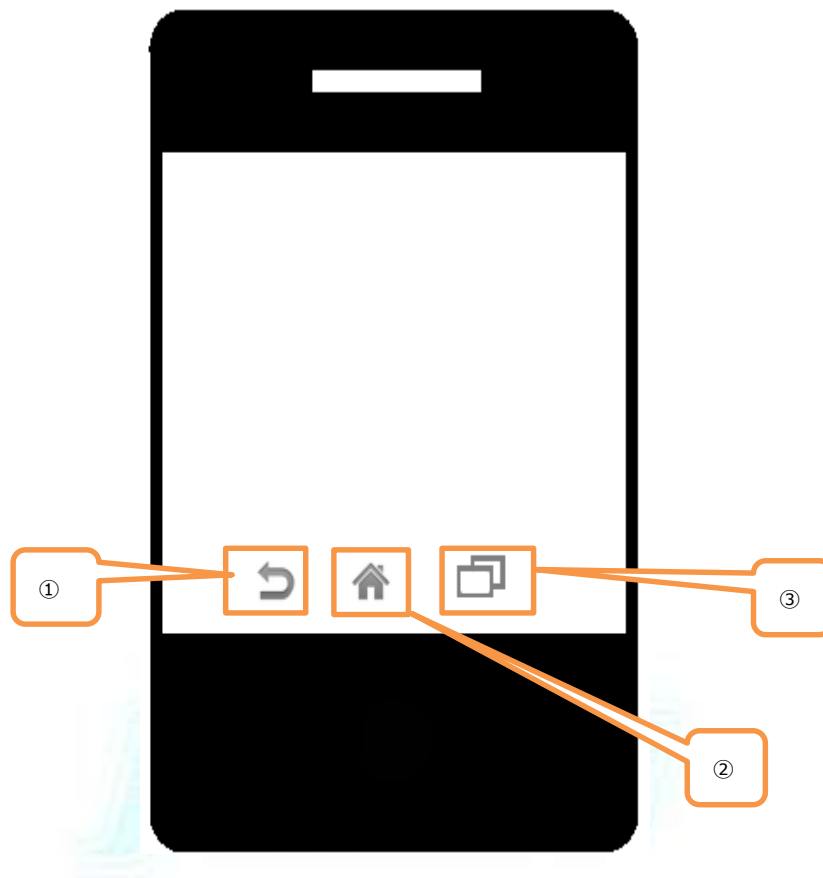
タップすると Wi-Fi 設定画面を表示します。

⑤ ユーザ ID 設定ボタン

タップするとユーザ ID 設定画面を表示します。



3.6 共通動作機能



XPERIA 系の例【図 3.6-1】

●機能概要

スマートフォンの共通動作の説明を記載します。

●機能詳細

① 戻るボタン

アプリの各画面で動作が異なります。以下に説明を記載します。

【アプリ起動から表示された時】

- ・Wi-Fi 設定画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・ユーザ ID 設定画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・開錠対象選択画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・パスコード解除画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・再実行画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・ローディング画面(※)・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。

※Wi-Fi 接続中などのユーザ操作が必要としない画面のこと

【再実行画面から表示された時】

- ・Wi-Fi 設定画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめて再実行画面へ戻ります。
- ・ユーザ ID 設定画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめて再実行画面へ戻ります。
- ・開錠対象選択画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・パスコード解除画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・再実行画面・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。
- ・ローディング画面(※)・・・・・・・・タップする事で設定を取りやめてアプリを終了します。

※Wi-Fi 接続中などのユーザ操作が必要としない画面のこと

② ホームボタン

タップするとアプリを中断しホーム画面に戻ります。

アプリを中断した場合は、アイコンをタップしてはじめてから起動しなおしてください。

③ アプリ履歴ボタン

タップするとアプリを一時中断しアプリ履歴画面を表示します。

※アプリ履歴からタップして本アプリを起動させないで下さい。

※アプリ履歴画面に本アプリがある場合は、削除して下さい。



3.7 その他機能



Bluetooth を有効にするために許可を要求するダイアログの例【図 3.7-1】

●機能概要

アプリ起動時に Bluetooth が無効の場合に表示されるダイアログです。

●機能詳細

① 許可ボタン

タップすると Bluetooth を有効に設定し、アプリを継続します。

② 許可しないボタン

タップするとアプリを終了します。

4. メッセージ一覧

エラーコード	メッセージ	原因	対応
E02	SSID が見つかりません。	周辺に Wi-Fi 設定画面で入力した SSID が見つかりません。	Wi-Fi ストレージの電源が入っていない、又は検知範囲に入っていない可能性があります。確認し再度実行して下さい。
E03	この端末には対応していません。	本アプリに対応していない端末で起動しています。	1.2 章の対象製品を確認しアプリを起動して下さい。
E04	アプリを利用するには Bluetooth を ON にして下さい。	Bluetooth を無効のままアプリを継続したためです。	Bluetooth 有効が前提条件となります。Bluetooth を有効にしてから再度実行して下さい。
E05	パスコードが違います。	ユーザ ID 設定画面で入力したユーザ ID に対するパスコードが違います。	パスコードが間違っていないかを確認し再度実行して下さい。SmartNS で変更した場合は、次の事を行っているか確認して下さい。 ・利用者アップロード機能実行
E07	ユーザ ID が見つかりません。	ユーザ ID 設定画面で入力したユーザ ID が SmartNS の利用者管理に存在しません。	ユーザ ID が間違っていないかを確認し再度実行して下さい。SmartNS で変更した場合は、次の事を行っているか確認して下さい。 ・利用者アップロード機能実行
E08	電子錠との接続に失敗しました。	電子錠との接続に失敗しました。	電子錠の電源が入っていない、又は Bluetooth の検知範囲に入っていない可能性があります。確認し再度実行して下さい。
E10	Wi-Fi 機能が起動できません。	Wi-Fi を無効から有効への切り替えに失敗しました。	Wi-Fi の接続状態を確認し再度実行して下さい。
E11	Wi-Fi 接続先変更失敗しました。	現在の接続先から Wi-Fi 設定画面で登録した接続先への変更に失敗しました。	Wi-Fi の接続状態を確認し再度実行して下さい。
E12	Wi-Fi ネットワークの取得に失敗しました。	ネットワークの取得に失敗しました。	Wi-Fi の接続状態を確認し再度実行して下さい。
E14	ファイル読み込みに失敗しました。	Wi-Fi ストレージのファイル読み込みに失敗しました。	次の事を確認し再度実行して下さい。 ・Wi-Fi 設定画面の情報が正しい ・SmartNS で利用者アップロード機能実行
E15	ファイル接続に失敗しました。	Wi-Fi ストレージのファイル接続に失敗しました。	次の事を確認し再度実行して下さい。 ・Wi-Fi 設定画面の情報が正しい
E16	SSID が見つかりません。(再実	周辺に Wi-Fi 設定画面で入力	Wi-Fi ストレージの電源が入っていない、又は検知

	行)。	した SSID が見つかりません。	範囲に入っていない可能性があります。確認し再度実行して下さい。
E17	選択した開錠対象とは Bluetooth ペアリングが必要です。ペアリングを行ってから再実行して下さい。	選択した電子錠と Bluetooth ペアリングがされていません。	次の設定をしてから再度実行して下さい。 ・スマートフォンの[設定- Bluetooth]から電子錠の Bluetooth ペアリング設定
E19	開錠対象がありません。	開錠対象がありませんでした。	次の事を確認し再度実行して下さい。 ・SmartNS で開錠対象を作成しているか。 ・SmartNS の開錠対象アップロード機能でアップロードを実行しているか。

